

## 久慈川・那珂川流域における減災対策協議会 平成29年度から着手する取組項目

### ◆平成29年度から着手する取組項目

- ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表（県）
- ・広域避難計画の策定（自治体、県、国）※県、国は情報提供及び支援
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進に関する支援（自治体）
- ・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難誘導マニュアルの整備（自治体）
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（気象庁）

### ◆平成28年度以降常陸河川国道事務所が支援する主な取組状況

#### ◎ソフト対策の取り組み

##### ●逃げ遅れゼロの取り組み

- ・タイムラインの実践的訓練支援…平成28年度に計画しており、平成29年度より具体的な訓練支援実施
- ・広域避難計画の策定支援…平成28年度に洪水浸水想定区域を提供しており、平成29年度より具体的な広域避難区域に向けて支援
- ・防災教育支援…平成28年度より出前講座を実施しており、平成29年度より、学校教材として支援
- 避難時間確保の取り組み
- ・排水ポンプ車の活用計画…平成28年度に活用計画を立案し、平成29年度に活用計画の実現に向けて支援

# 久慈川・那珂川についての 防災教育を支援します

## 防災教育支援の取組

国土交通省では、これまで主に河川環境教育の支援に取り組んできたところですが、平成27年9月関東・東北豪雨のような「今までに経験していない」災害が頻繁に発生していることに鑑み、河川環境教育に加え、地域防災力の向上に寄与することを目的として、学校教育現場における防災教育の支援について取り組んでいきます。

### 取組内容

常陸河川国道事務所では、久慈川・那珂川の過去の水害や浸水想定等に基づいて、専門的な知見から地域の防災教育を支援します。

#### ■ 板書計画、指導計画、解説書等の作成支援



#### ■ 参加・体験型授業の実施



グループディスカッション



パネル展



水防災講座

#### 防災教育支援に関する問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局  
常陸河川国道事務所 調査第一課  
TEL（直通）：029-240-4069

## ○概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事 項 具体的取組	目標時期	実施する機関		実施する機関		実施する機関		実施する機関	
		水戸市		日立市		常陸太田市		ひたちなか市	
		取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組									
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知等									
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 <県管理河川>	平成28年9月  平成29年度 から実施								
・広域避難計画の策定	平成29年度 から実施	・市外においては、茨城県立水戸農業高等学校とひたちなか市(市毛小学校)と避難場所に関する協定を締結し、連携体制を確立している。	・市外においては、茨城県立水戸農業高等学校とひたちなか市(市毛小学校)と避難場所に関する協定を締結し、連携体制を確立している。	・隣接自治体からの打診があった場合は要請があれば、対応可	・隣接自治体からの要請があれば、対応可	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定【H29年度～】	平成29年度以降、協議会の中で検討	・浸水想定区域内に1箇所指定避難所があるが、当該地域の住民に対しては、洪水災害時、高台の避難所へ避難するよう周知を図っているため、現在のところ広域避難計画の策定の予定はありません。	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	平成29年度 から実施	・36施設への避難計画作成を促しているところであり、14施設が作成済である【7/21時点】	・36施設への避難計画作成を促しているところであり、14施設が作成済である【7/21時点】	・要配慮者のいる施設と意見交換し避難計画の策定支援【H29年度～】	・各施設が行う避難訓練等への支援【H29年度】	H29年度以降避難訓練等への支援について検討	・最大規模の浸水想定区域内に所在する要配慮者利用施設の実態を把握したうえで、避難計画の策定等について検討していく。【H29年度～】	福祉部局と連携し実態調査実施に向けた検討を行う(H29年度予定)	
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難誘導マニュアルの整備	平成29年度 から実施	・今後検討【時期未定】	・今後検討【時期未定】	・調査等を行い検討する【H29年度～】	・調査等を行い検討する【H29年度～】	・策定済みマニュアルの充実【H29年度～】	平成29年度以降検討	今後検討が必要【H29年度～】	H29年度より検討を行う
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組									
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成									
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施								

## ○概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事 項 具体的取組	目標時期	実施する機関 常陸大宮市		実施する機関 那珂市		実施する機関 茨城町		実施する機関 大洗町		
		取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	
		2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組								
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知等										
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川  <県管理河川>		平成28年9月								
		平成29年度から実施								
・広域避難計画の策定		平成29年度から実施	・他地域の避難所にて対応予定であるため、策定の予定なし。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。	隣接自治体からの要請があれば、対応可	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定【H29年度～】 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定【H29年度～】 ・隣接自治体からの要請があれば、対応可	・浸水想定区域内に指定避難所なし。また、周辺自治体からの打診があれば検討する。	・隣接自治体からの要請があれば、対応可	・協議会の中で広域避難計画(案)を策定【H29年度～】	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		平成29年度から実施	・浸水予定区域内に施設無し	・浸水想定区域内に施設なし		・浸水想定区域内に指定避難所なし		・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援【H29年度～】	要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援【H29年度～】	
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難誘導マニュアルの整備		平成29年度から実施	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実を検討する。 【H29年度～】	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実を検討する。 【H29年度～】	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実【H29年度～】	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実の検討【H29年度～】	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実の検討【H29年度～】	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実【H29年度～】	安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実【H29年度～】	
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組										
■避難勧告令に着目したタイムラインの作成										
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)		平成29年度出水期から実施								

○概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事 項 具体的取組	目標時期	実施する機関 城里町		実施する機関 東海村		実施する機関 大田原市		実施する機関 那須烏山市		
		取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	
		2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組								
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知等										
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川  <県管理河川>		平成28年9月								
		平成29年度から実施								
・広域避難計画の策定		平成29年度から実施	・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。	隣接自治体からの要請があれば、対応可	・浸水想定区域内に指定避難所なし。ただし、隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。	隣接自治体からの要請があれば、対応可	・浸水想定区域内に指定避難所なし ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。	隣接自治体からの要請があれば、対応可	・浸水想定区域内に指定避難所はあるものの隣接の指定避難所に代替が可能である。 ・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		平成29年度から実施	・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に施設なし	・浸水想定区域内に要配慮者施設があるが、当該施設の避難計画の運用を側面から支援する。 【H29年度～】	・防災ラジオの無償貸与を検討中		
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難誘導マニュアルの整備		平成29年度から実施	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備 【H29年度～】	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実の検討 【H29年度～】	・消防団活動マニュアルを策定済みであり、見直しが必要な箇所はなし	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実を検討していく。 【H29年度～】	H29年度から安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実の検討をしていく。	・安全対策・待避等を踏まえたマニュアルの整備・充実の検討をしていく。 【H29年度～】	・マニュアル作成に向けて調査研究中	
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組										
■避難勧告令に着目したタイムラインの作成										
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)		平成29年度出水期から実施								

## ○概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事 項 具体的取組	目標時期	実施する機関		実施する機関		実施する機関		実施する機関	
		茂木町		那珂川町		茨城県		栃木県	
		取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況	取組内容	実施状況
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組									
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知等									
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川 <県管理河川>	平成28年9月  平成29年度から実施					・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表【H29年度～】 ・氾濫シミュレーションについては策定予定。 ・公表については検討中。	H28年度は、指定河川において既存の浸水想定区域図の見直しを行うと共に、来年度の公表に向け作業中である。	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表【H29年度～】	・H28年度から、指定河川において順次既存の浸水想定区域図の見直しを行うと共に、H29年度からの公表に向け作業中である。
・広域避難計画の策定	平成29年度から実施	・隣接自治体からの打診があった場合は策定について検討する。	隣接自治体からの要請があれば、対応可	・隣接自治体から打診があった場合は検討。	隣接自治体からの要請があれば、対応可	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援【H29年度～】	広域避難計画策定支援のためのワーキンググループを設置	・各市町における避難体制の検討の支援【H29年度～】	・各市町からの要請に対し、必要により実施する。
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	平成29年度から実施	・要配慮者のいる施設と意見交換し、避難計画の策定支援【H29年度～】	・要配慮者のいる施設と意見交換し、避難計画の策定支援を開始【H28年度～】	・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援。【H29年度～】	・H29年度から関係機関と調整				
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難誘導マニュアルの整備	平成29年度から実施	・今後検討【H29年度～】	・H28年度から検討を開始	・避難誘導マニュアル等の整備。【H29年度～】	・H29年度から作成に向けて着手				
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組									
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成									
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度出水期から実施								

## ○概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事 項 具体的取組	目標時期	実施する機関		
		気象庁		
		取組内容	実施状況	
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組				
■想定最大規模の降雨による浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成・周知等				
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表 <直轄河川> 久慈川・山田川・里川・那珂川・藤井川・桜川・涸沼川  <県管理河川>	平成28年9月  平成29年度 から実施			
・広域避難計画の策定	平成29年度 から実施	・作成に必要な情報の提供および策定を支援 【H29年度～】	・現時点において、策定への支援作業は生じて いない。	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	平成29年度 から実施			
・避難誘導員の安全対策、待避等を踏まえた避難誘導マニュアルの整備	平成29年度 から実施			
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組				
■避難勧告発令に着目したタイムラインの作成				
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度 出水期から実施	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 【H29年度出水期～】	・平成29年度出水期からの実施に向けて作業を 進めている。	

## ○概ね5年で実施する取組

具体的な取組の柱 事 項 具体的取組	目標時期	実施する機関		
		常陸河川		
		取組内容	実施状況	
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組				
<b>■防災教育や防災知識の普及</b>				
・水害災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	平成28年度から実施	・問い合わせ窓口の設置【H28年度～】	・問い合わせ窓口を設置し、HPにアップした【H29.2月】	
・水防災に関する説明会等の開催	平成28年度から順次実施	・過去の水害を振り返るシンポジウム等の開催【H28年度】 ・市町村の要請により出前講座等を積極的に実施【H28年度～】 ・市町村と協同した説明会を実施【H28年度～】	・過去の水害を振り返るシンポジウムを開催。【H28.12.17】 市町村の要請により説明会を随時実施中。	
・教員を対象とした講習会の実施	平成28年度から	・市町村の要請により出前講座等を積極的に実施【H28年度～】	・市町村から要請があれば出前講座等を積極的に実施していく。	
・小学生を対象とした防災教育の実施	平成28年度から順次実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に実施【H28年度～】	・過去の水害を振り返るシンポジウムにて、小学生を含む地域住民にクイズ形式による講座や体験型防災ゲームを実施していただいた。 【H28.12.17】 ・防災教育を支援するための教材作成業務を実施【H29.3月～】	
・出前講座等を活用した講習会の実施	平成28年度から実施	・要請により出前講座等を積極的に実施【H28年度～】	要請により出前講座を隨時実施中。	
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	平成28年度から順次実施	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信【H28年度～】	・平成28年10月に配信希望について確認。 ・確認結果に基づき、本省にて情報発信のための基盤整備を実施しているところ。 【H29年出水期前に配信開始】	
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成28年度から実施	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する。【H28年度～】	・ライブカメラの情報について、現状の3箇所から26箇所に増やし、提供を開始予定【H29.3月】	
2)ソフト対策の主な取組 ②避難時間の確保のための取組				
<b>■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化</b>				
・水防団や地域住民が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検を実施【H28年5月～毎年】	・重要水防箇所等の共同点検を実施。 【H29.5月を予定】	
・水防訓練の実施	引き続き毎年実施 平成28年度から順次実施	・水防管理団体が行う訓練への参加【H28年5月～毎年】	・利根川水系連合・総合水防演習に参加する予定 【H29.5.20】 ・久慈川水系連合水防演習に参加する予定 【H29.5月】 ・事務所職員向け水防実技研修を実施 【H29.6月頃】	
<b>■排水活動の強化に関する取組</b>				
・排水ポンプ車の操作講習会、出動要請の連絡体制の周知	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車の操作訓練を毎年実施【H28年5月～毎年】 ・排水活動に資する標高図等の基礎データを整備【H28年度～】	・排水ポンプ車の操作訓練を出水期前までに実施予定 【H29年5月頃】 ・標高図等の基礎データ収集・整理を行うための業務について、現在契約に向け発注手続き中。 【H28.12月～】	
・逃げ遅れゼロ等に寄与する排水ポンプ車の活用計画	平成28年度から実施	・排水ポンプ車の活用計画の立案【H28年度～】	・排水ポンプ車の活用計画を検討するための業務を実施中 【H29.3月～】	